

研究・調査報告書

報告書番号	担当
219	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption and abdominal fat in blood donors. 献血者におけるアルコール摂取および腹部脂肪	
執筆者	
Ferreira MG, Valente JG, Goncalves-Silva RM, Sichieri R.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Rev Saude Publica. 2008 Dec;42(6):1067-73. English, Portuguese.	
キーワード	
献血者、男性の健康、飲酒、代謝、腹部脂肪、ウエスト・ヒップ比、横断研究	
要 旨	
<p>目的： アルコール摂取と腹部脂肪との関連を評価する。</p> <p>方法： 1999年8月から2000年1月の間、ブラジル中西部 Cuiabá 市にて献血をした20-59歳男性1,235人の抽出集団にて横断研究を行った。腰囲周径およびウエスト・ヒップ比は脂肪組織全体で調整した腹部脂肪の指標である。体重、身長、腰囲および臀囲の周囲径を測定した。酒類、摂取頻度、摂取量をたずねた質問票を用いてアルコール摂取を評価した。アルコール摂取と腹部脂肪との関連は、年齢、身体活動、喫煙、体脂肪率(%)で調整した多変量線形回帰モデルを用いて評価した。</p> <p>結果： 多変量調整後、腰周囲径およびウエスト・ヒップ比はビール摂取(両者とも $p=0.02$) および、総アルコール摂取量(腰囲径 $p=0.01$、ウエスト・ヒップ比 $p=0.03$) と正の関連を認めた。腰周囲径はスピリッツ消費と正の関連を認めた ($p=0.04$)。</p> <p>結論： アルコール摂取、特にビールは腹部脂肪と正の関連が認められた。</p>	